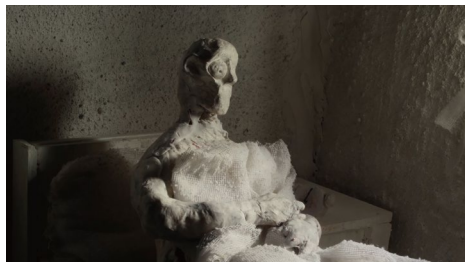
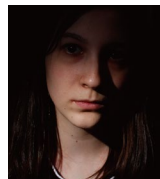


Division / 分裂

06分36秒/2018年制作/Malgorzata Wowczak/マウゴジャタ・ヴォヴチャク



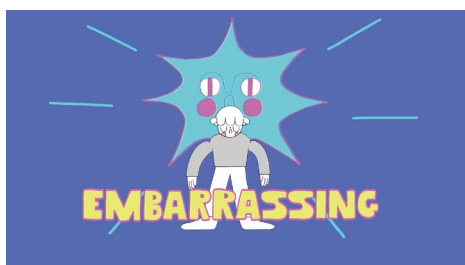
自分の一部を置き去りにした男の物語。憧れと親密さの必要性について語りかける。



1997年生まれ。ヤン・マテイコ美術アカデミー(クラクフ)在学。アニメーション、素描、グラフィックアートを手掛ける。

Give it a break / もう勘弁

11分31秒/2020年制作/Anna Waćowska/アンナ・ヴァツォフスカ



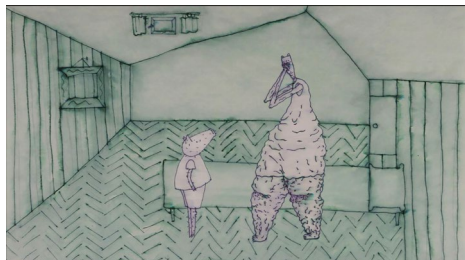
若者の優柔不断から生じる、説明できない悲しみについて示す。青年期の失望、後悔、感情的な喪失や心配事。主人公の少年は青い生き物からの侮辱に苦しみ、日常の状況に対処できない。そのため、受け入れがたい失敗の悪循環に陥っている。彼は絶望し、終わりのない侮辱に屈してしまう。少年にとって最大の脅威は、憎むべき生き物ではなく彼自身だった。



ヤン・マテイコ美術アカデミー(クラクフ)グラフィックアート科アニメーション映画スタジオ卒業。彼女は物語や様々な不快な状況を語ろうとしている。

MY SON / 息子

02分43秒/2020年制作/Olga Synyshyn/オルガ・シニシン



親子関係にまつわる短編アニメーション。



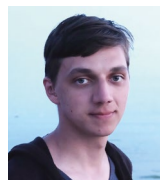
ポーランド系ウクライナ作家。短編アニメーション映像作家、イラストレーター、写真家、グラフィックデザイナー。彼女はシャベル・アート・ギャラリーの共同創設者であり、「ファンガ」というジンの作者の1人でもある。ヤン・マテイコ美術アカデミー(クラクフ)のグラフィックアート科在籍。

Observation point / 観察ポイント

09分35秒/2019年制作/Aleksander Józefczyk/アレクサンデル・ユゼフチク



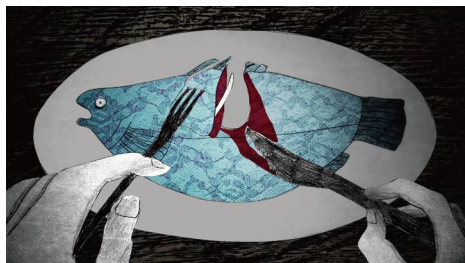
写真家はこれまでの作品に飽きている。偶然にも、彼は新聞で不思議な生き物の写真賞の告知に気づいた。そういう写真を撮影したことがあったと思い出したが、写真はぼやけていたし、そのこと自体すっかり忘れていた。その生き物を探すために、彼は若く野心的だったときに建てた観察ポイントに戻る。彼はまた、孤独で迷子になり、野蛮な犬を飼いならす。



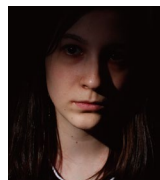
ヤン・マテイコ美術アカデミー(クラクフ)グラフィックアート科卒業生。アニメーション、写真、グラフィック、イラストレーションを手掛ける。

Fishbones / 魚の骨

04分47秒/2020年制作/Malgorzata Wowczak/マウゴジャタ・ヴォヴチャク



愛する人の喪失に関連する感情についての映画。妻の死を受け入れたくない男が主人公。彼は悲劇的な出来事を変えるため、不快な現実から想像の世界に逃れる。しかし、真実は依然として現れており、主人公は増大する狂気へと急落する。



1997年生まれ。ヤン・マテイコ美術アカデミー(クラクフ)在籍。アニメーション、ドローイング、グラフィックアートを手掛ける。

Paper House / 紙の家

05分34秒/2020年制作/Martyna Hołda/マルティナ・ハウダ



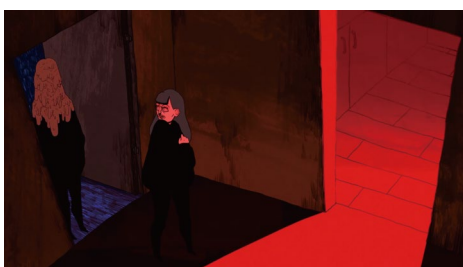
望まれない子どもについての映像。受け入れられずに成長し、喪失感に苦しむ子どもに関連している。結果として、子どもは孤独に苦しんでいる。この場合、家は過酷な見かけ、幻想にすぎない。家は逃亡の理由になるだけでなく、人工的な世界を創造する源泉となる。



1994年生まれ。ヤン・マテイコ美術アカデミー(クラクフ)グラフィックアート科卒業。比喩的には、彼女は木々の間や時を超えて生き、美しいものを描く。アニメーション(タイムラプステクニック)や挿絵を手掛ける。

Skorupki125 / 殻125

02分37秒/2020年制作/Ewelina Galla/エヴェリナ・ガラ



主人公は彼女の最初の家族の家、彼女がよく知っている場所に戻る。それは素晴らしいが、同時に恐怖に満ちた夢のような雰囲気の中でそれを再発見する。



ヤン・マテイコ美術アカデミー(クラクフ)グラフィックアート科在学。主な関心事や創作の動機は、主にイラスト、アニメーションとコミックであり、自身の技術と情熱を伸ばすためにこれら3つのメディアを使って漫画本の出版、定期的なアートフェアへの積極的な参加、芸術祭や展覧会、「ファンガ」というジンの出版などを手掛ける。彼女はまた芸術的経験を、最も関心のある「素描」の分野で子どもや若者の教育に広げている。

We hope You won't need to comeback / あなたが戻る必要がありませんように

09分48秒/2020年制作/Anastazja Naumenko/アナスタジア・ナウメンコ



若い女性が移住した。新しい環境でやってゆくに必要なのは、ゆっくりとルーチンに移行し、自分自身を現代のフランケンシュタインの創造物へと変えることだ。この新しいアプローチと行動は、もはや古い習慣と愛国的なステレオタイプと一致しない。家族と再会し、快適さを取り戻すという決断はターニングポイントとなり、現代の移民が経験するプロセスを明らかにする。



アニメーター兼アニメーションおよび実験映画の監督。ヤン・マテイコ美術アカデミー(クラクフ)とベルギーのKASKで学ぶ。クラクフ、ヴロツワフ、ゲントで展示。

ヤン・マテイコ美術アカデミー アニメーションフィルムスタジオ

1957年に設立。若手作家、アニメーター、画家、版画家や彫刻家たちがアニメーション制作に携わることができ、学生の興味関心に応じて、芸術的個性に注目しながら経験を広げることができる。今日、スタジオはアニメーションフィルム科となり、修士課程まで進むことができる。毎年多くの学生を受け入れ、外国からの学生たちも多く、専門分野あるいは補完的な分野として学ぶことが可能である。在学生や卒業生たちの活躍も目覚ましく、国内外のフェスティバル、例えばベルリン映画祭、カンヌ、アヌシー、ニューヨーク、ザグレブ、広島などの映像祭で若手作家たちが大きな成功を収めている。

連絡先:

Jan Matejko Academy of Fine Arts in Kraków, Animated FilmStudio Plac Matejki 13, 31-157 Kraków, Poland tel.: +48 12 299 20 14
<https://www.asp.krakow.pl> animationstudio@asp.krakow.pl

スタジオ長 ロベルト・ソヴァ教授 Prof.Robert Sowa
rsowa@asp.krakow.pl +48 608 639 071 <https://grafika.asp.krakow.pl>